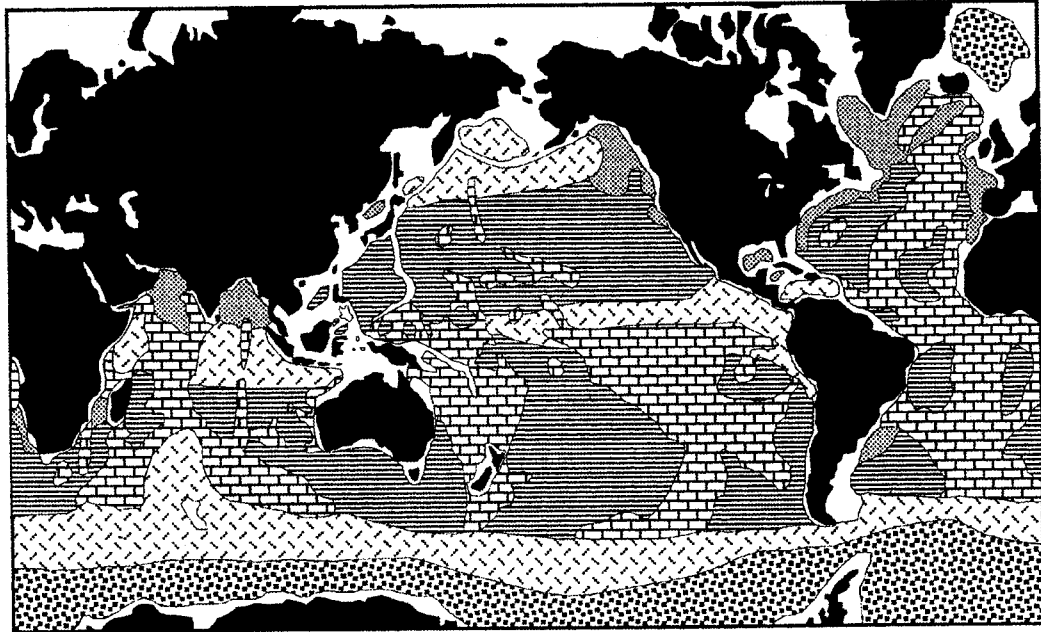


(問題 1 の続き)

問 2 図 1 は、現世海底堆積物の分布を示した図である。海底堆積物に関する以下の設問 (1) ~ (4) に答えよ。



石灰質堆積物
 (ア)
 (イ)
 (ウ)
 (エ)
 大陸縁辺域堆積物

図 1 現世海底堆積物の分布 (日本地質学会編, 2004 を改変)

(1) 図 1 中の空欄 (ア) ~ (エ) に入る語句を、以下の語群より選択せよ。

珪質堆積物, 遠洋性粘土, 降下火山灰, 氷河性堆積物,
ドロマイト, チャネル堆積物, 陸源性堆積物, 層状チャート

(2) 図 1 中の石灰質堆積物は、主に微小な浮遊性生物の生物遺骸粒子から構成される。この浮遊性生物として適当なものを 2 つ答えよ。

(3) 遠洋性石灰質堆積物が十分に固結して石灰岩となった場合、堆積組織に基づく石灰岩の分類名として最も適当なものを一つ選び、番号で答えよ。

- ① バッフルストーン ② グレインストーン ③ フレームストーン
④ マッドストーン

(4) 現世の大洋底において遠洋性石灰質堆積物が形成されるか否かは、炭酸塩補償深度と関わりがある。炭酸塩補償深度について簡潔に説明せよ。